

西胆振管内における人口推移について

1. 北海道の人口推移について

(1) 北海道の人口推計について

北海道の総人口は減少を続けており、平成 30 年（2018 年）に公表された国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、人口の減少は継続し、令和 27 年（2045 年）には、平成 27 年（2015 年）と比べ 25.58%の減少が予測されています。少子化が進行する中、生産年齢人口も減少し人口構造そのものが大きく変化していきます。

高齢者人口ⁱⁱは、令和 22 年（2040 年）にピークに達する見込みで、その後は減少に転じると予測されています。75 歳以上人口は、令和 12 年（2030 年）にピークに達する見込みで、その後は減少に転じると予測され、平成 27 年（2015 年）と比べ約 1.4 倍の 321,160 人の増加が見込まれます。

高齢化率ⁱⁱⁱは、平成 27 年（2015 年）の 29.09%から、令和 27 年（2045 年）には、42.79%まで上昇を続ける見込みです。

表 1 北海道の年齢階級別将来推計人口

(単位:人)

人口推計 (北海道)	2015年 平成27年	2020年 令和2年	2025年 令和7年	2030年 令和12年	2035年 令和17年	2040年 令和22年	2045年 令和27年	(対2015年比)
15歳未満	609,181	561,558	511,677	465,307	423,382	391,086	360,177	▲ 40.88%
15～64歳	3,207,143	2,959,481	2,781,175	2,594,718	2,394,230	2,140,781	1,931,265	▲ 39.78%
65歳以上	1,565,409	1,695,576	1,723,702	1,731,567	1,728,745	1,748,560	1,713,531	9.46%
総数	5,381,733	5,216,615	5,016,554	4,791,592	4,546,357	4,280,427	4,004,973	▲ 25.58%
(75歳以上)	771,234	868,619	1,016,438	1,092,394	1,084,047	1,061,558	1,039,900	34.84%
(高齢化率)	29.09%	32.50%	34.36%	36.14%	38.02%	40.85%	42.79%	47.09%

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 30（2018）年推計）」より

(2) 北海道の年齢構成割合について

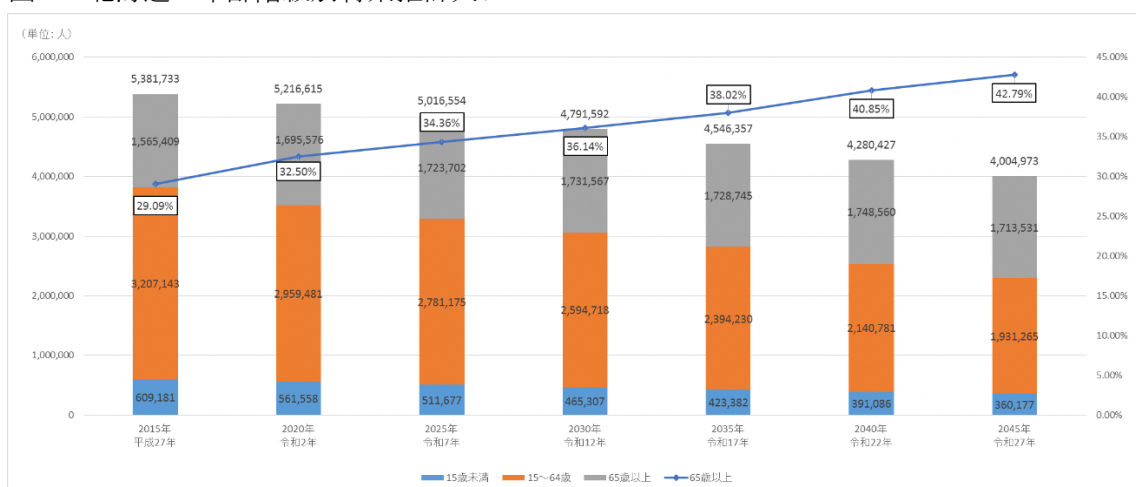
北海道の年齢構成割合について、平成 27 年（2015 年）以降、増加すると予測されているのは 65 歳以上の高齢者のみとなっており、64 歳以下の人口は減少すると予測されています。平成 27 年（2015 年）と令和 27 年（2045 年）を比較すると、15 歳未満については、11.32%から 8.99%となり 2.33 ポイントの減少、15 歳から 64 歳については、59.59%から 48.22%となり 11.37 ポイントの減少が予測されています。一方、65 歳以上については、29.09%から 42.79%となり 13.70 ポイントの増加が予測されています。75 歳以上についても、14.33%から 25.97%となり、11.63 ポイントの増加が予測されています。

表2 北海道の年齢構成割合（推計）

年齢構成割合 （北海道）	2015年 平成27年	2020年 令和2年	2025年 令和7年	2030年 令和12年	2035年 令和17年	2040年 令和22年	2045年 令和27年	(2015年-2045年)
15歳未満	11.32%	10.76%	10.20%	9.71%	9.31%	9.14%	8.99%	▲ 2.33
15～64歳	59.59%	56.73%	55.44%	54.15%	52.66%	50.01%	48.22%	▲ 11.37
65歳以上	29.09%	32.50%	34.36%	36.14%	38.02%	40.85%	42.79%	13.70
(75歳以上)	14.33%	16.65%	20.26%	22.80%	23.84%	24.80%	25.97%	11.63

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」より

図1 北海道の年齢階級別将来推計人口



国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」より

続きまして、「2. 西胆振管内の人口推計と年齢構成割合」について、説明させていただきます。

2. 西胆振管内の人口推計と年齢構成割合について

(1) 西胆振管内の人口推計について

西胆振管内の総人口については、北海道全体と同様に減少を続けており、平成30年(2018年)に公表された国立社会保障人口問題研究所の推計によると、人口の減少は継続し、令和27年(2045年)には、平成27年(2015年)と比べ40.53%の減少が予測されています。中でも、15歳未満人口及び15～64歳人口については、15歳未満人口の減少率は52.17%、15歳から64歳人口の減少率は49.26%と平成27年(2015年)から減少を続け、令和27年(2045年)では概ね半減する見込みです。

高齢者人口は、令和2年(2020年)にピークに達する見込みで、その後は減少に転じると予測されています。75歳以上人口は、令和12年(2030年)にピークに達する見込みで、その後は減少に転じると予測され、平成27年(2015年)と比べ約1.2倍の6,818人の増加が見込まれます。

高齢化率は、平成27年(2015年)の34.64%から、令和27年(2045年)には、44.75%まで上昇を続ける見込みです。

表3 西胆振管内の年齢階級別将来推計人口

(単位:人)

人口推計 (西胆振区域)	2015年 平成27年	2020年 令和2年	2025年 令和7年	2030年 令和12年	2035年 令和17年	2040年 令和22年	2045年 令和27年	(対2015年比)
15歳未満	20,072	17,485	15,261	13,502	11,927	10,737	9,600	▲ 52.17%
15～64歳	103,919	92,974	85,444	77,882	70,055	60,287	52,732	▲ 49.26%
65歳以上	65,705	67,103	63,742	59,621	55,865	53,996	50,478	▲ 23.17%
総数	189,696	177,562	164,447	151,005	137,847	125,020	112,810	▲ 40.53%
(75歳以上)	33,020	36,038	39,759	39,838	36,405	32,955	30,393	▲ 7.96%
(高齢化率)	34.64%	37.79%	38.76%	39.48%	40.53%	43.19%	44.75%	29.19%

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」より

(2) 西胆振管内の年齢構成割合について

西胆振管内の年齢構成割合については、平成27年(2015年)以降、増加すると予測されているのは65歳以上の高齢者のみとなっており、64歳以下の人口は減少すると予測されています。平成27年(2015年)と令和27年(2045年)を比較すると、15歳未満の人口については、10.58%から8.51%となり2.07ポイントの減少、15歳から64歳の人口については、54.78%から46.74%となり8.04ポイントの減少が予測されています。一方、65歳

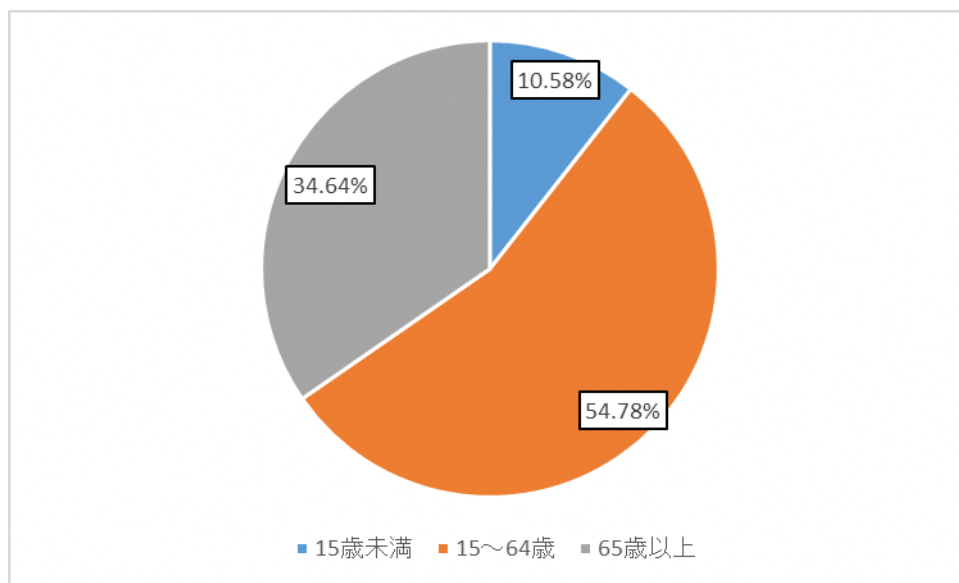
以上の人口については、34.64%から 44.75%となり 10.11 ポイントの増加が予測されており、75 歳以上の人口については、17.41%から 26.94%となり 9.53 ポイントの増加が予測されています。

表 4 西胆振管内の年齢構成割合（推計）

年齢構成割合 (西胆振区域)	2015年 平成27年	2020年 令和2年	2025年 令和7年	2030年 令和12年	2035年 令和17年	2040年 令和22年	2045年 令和27年	(2015年-2045年)
15 歳 未 満	10.58%	9.85%	9.28%	8.94%	8.65%	8.59%	8.51%	▲ 2.07
15 ~ 64 歳	54.78%	52.36%	51.96%	51.58%	50.82%	48.22%	46.74%	▲ 8.04
65 歳 以 上	34.64%	37.79%	38.76%	39.48%	40.53%	43.19%	44.75%	10.11
(75 歳 以 上)	17.41%	20.30%	24.18%	26.38%	26.41%	26.36%	26.94%	9.53

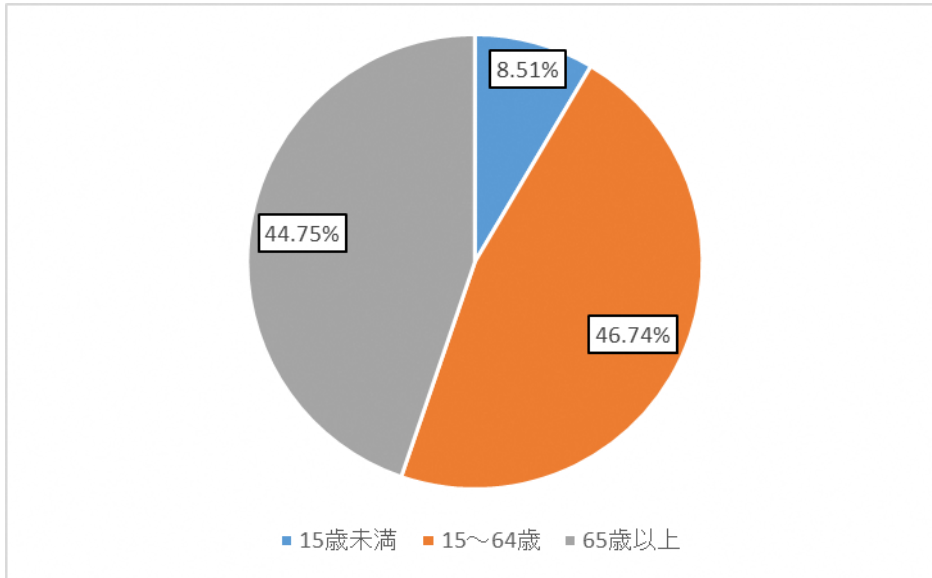
国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 30（2018）年推計）」より

図 2 西胆振管内の年齢構成割合（平成 27 年（2015 年））



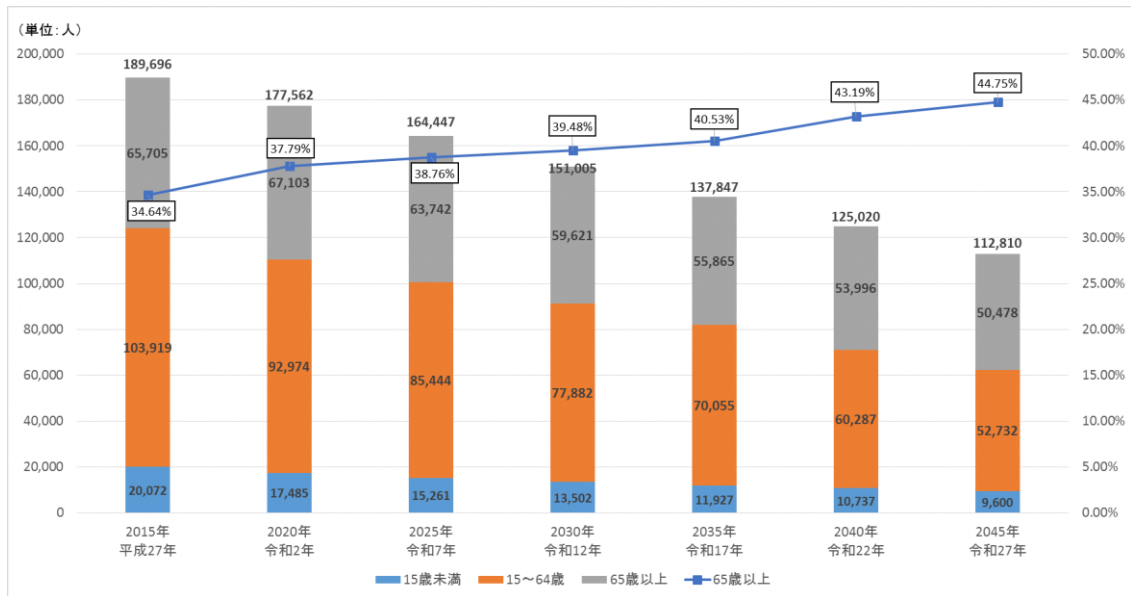
国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 30（2018）年推計）」より

図3 西胆振管内の年齢構成割合（推計）（令和27年（2045年））



国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」より

図4 西胆振管内の年齢階級別将来推計人口



国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」より

また、管内各市町の推計状況は、次のとおりとなっております。参考資料として、御覧ください。

3. 「資料編」西胆振管内各市町について

(1) 室蘭市

表 5 室蘭市の年齢階級別将来推計人口

(単位：人)

人口推計 (室蘭市)	2015年 平成27年	2020年 令和2年	2025年 令和7年	2030年 令和12年	2035年 令和17年	2040年 令和22年	2045年 令和27年	(対2015年比)
15歳未満	9,185	7,899	6,965	6,183	5,481	4,956	4,446	▲ 51.59%
15～64歳	49,188	43,990	40,303	36,660	32,913	28,396	25,021	▲ 49.13%
65歳以上	30,191	29,985	27,542	24,991	22,833	21,698	19,910	▲ 34.05%
総数	88,564	81,874	74,810	67,834	61,227	55,050	49,377	▲ 44.25%
(75歳以上)	14,886	16,062	17,298	16,751	14,661	12,819	11,621	▲ 21.93%
(高齢化率)	34.09%	36.62%	36.82%	36.84%	37.29%	39.42%	40.32%	18.28%

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」より

表 6 室蘭市の年齢構成割合（推計）

年齢構成割合 (室蘭市)	2015年 平成27年	2020年 令和2年	2025年 令和7年	2030年 令和12年	2035年 令和17年	2040年 令和22年	2045年 令和27年	(2015年-2045年)
15歳未満	10.37%	9.65%	9.31%	9.11%	8.95%	9.00%	9.00%	▲ 1.37
15～64歳	55.54%	53.73%	53.87%	54.04%	53.76%	51.58%	50.67%	▲ 4.87
65歳以上	34.09%	36.62%	36.82%	36.84%	37.29%	39.42%	40.32%	6.23
(75歳以上)	16.81%	19.62%	23.12%	24.69%	23.95%	23.29%	23.54%	6.73

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」より

(2) 登別市

表 7 登別市の年齢階級別将来推計人口

(単位：人)

人口推計 (登別市)	2015年 平成27年	2020年 令和2年	2025年 令和7年	2030年 令和12年	2035年 令和17年	2040年 令和22年	2045年 令和27年	(対2015年比)
15歳未満	5,374	4,703	4,059	3,568	3,125	2,789	2,466	▲ 54.11%
15～64歳	27,380	24,562	22,754	20,749	18,640	15,859	13,605	▲ 50.31%
65歳以上	16,871	17,885	17,477	16,805	16,080	15,837	15,099	▲ 10.50%
総数	49,625	47,150	44,290	41,122	37,845	34,485	31,170	▲ 37.19%
(75歳以上)	8,185	9,315	10,741	11,121	10,391	9,649	9,030	10.32%
(高齢化率)	34.00%	37.93%	39.46%	40.87%	42.49%	45.92%	48.44%	42.49%

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」より

表 8 登別市の年齢構成割合（推計）

年齢構成割合 （登別市）	2015年 平成27年	2020年 令和2年	2025年 令和7年	2030年 令和12年	2035年 令和17年	2040年 令和22年	2045年 令和27年	（2015年-2045年）
15歳未満	10.83%	9.97%	9.16%	8.68%	8.26%	8.09%	7.91%	▲ 2.92
15～64歳	55.17%	52.09%	51.38%	50.46%	49.25%	45.99%	43.65%	▲ 11.53
65歳以上	34.00%	37.93%	39.46%	40.87%	42.49%	45.92%	48.44%	▲ 14.44
（75歳以上）	16.49%	19.76%	24.25%	27.04%	27.46%	27.98%	28.97%	▲ 12.48

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」より

(3) 伊達市

表 9 伊達市の年齢階級別将来推計人口

（単位：人）

人口推計 （伊達市）	2015年 平成27年	2020年 令和2年	2025年 令和7年	2030年 令和12年	2035年 令和17年	2040年 令和22年	2045年 令和27年	（対2015年比）
15歳未満	3,966	3,609	3,183	2,849	2,547	2,316	2,091	▲ 47.28%
15～64歳	18,919	17,171	16,059	14,954	13,734	12,042	10,730	▲ 43.28%
65歳以上	12,110	12,740	12,540	12,079	11,639	11,521	10,998	▲ 9.18%
総数	34,995	33,520	31,782	29,882	27,920	25,879	23,819	▲ 31.94%
（75歳以上）	6,279	6,882	7,728	8,021	7,665	7,138	6,708	6.83%
（高齢化率）	34.60%	38.01%	39.46%	40.42%	41.69%	44.52%	46.17%	33.43%

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」より

表 10 伊達市の年齢構成割合（推計）

年齢構成割合 （伊達市）	2015年 平成27年	2020年 令和2年	2025年 令和7年	2030年 令和12年	2035年 令和17年	2040年 令和22年	2045年 令和27年	（2015年-2045年）
15歳未満	11.33%	10.77%	10.02%	9.53%	9.12%	8.95%	8.78%	▲ 2.55
15～64歳	54.06%	51.23%	50.53%	50.04%	49.19%	46.53%	45.05%	▲ 9.01
65歳以上	34.60%	38.01%	39.46%	40.42%	41.69%	44.52%	46.17%	▲ 11.57
（75歳以上）	17.94%	20.53%	24.32%	26.84%	27.45%	27.58%	28.16%	▲ 10.22

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」より

(4) 豊浦町

表 11 豊浦町の年齢階級別将来推計人口

(単位:人)

人口推計 (豊浦町)	2015年 平成27年	2020年 令和2年	2025年 令和7年	2030年 令和12年	2035年 令和17年	2040年 令和22年	2045年 令和27年	(対2015年比)
15歳未満	442	414	389	354	324	305	289	▲ 34.62%
15～64歳	2,315	2,050	1,854	1,681	1,520	1,334	1,168	▲ 49.55%
65歳以上	1,534	1,514	1,428	1,346	1,272	1,224	1,155	▲ 24.71%
総数	4,291	3,978	3,671	3,381	3,116	2,863	2,612	▲ 39.13%
(75歳以上)	898	877	898	895	839	782	728	▲ 18.93%
(高齢化率)	35.75%	38.06%	38.90%	39.81%	40.82%	42.75%	44.22%	23.69%

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」より

表 12 豊浦町の年齢構成割合(推計)

年齢構成割合 (豊浦町)	2015年 平成27年	2020年 令和2年	2025年 令和7年	2030年 令和12年	2035年 令和17年	2040年 令和22年	2045年 令和27年	(2015年-2045年)
15歳未満	10.30%	10.41%	10.60%	10.47%	10.40%	10.65%	11.06%	0.76
15～64歳	53.95%	51.53%	50.50%	49.72%	48.78%	46.59%	44.72%	▲ 9.23
65歳以上	35.75%	38.06%	38.90%	39.81%	40.82%	42.75%	44.22%	8.47
(75歳以上)	20.93%	22.05%	24.46%	26.47%	26.93%	27.31%	27.87%	6.94

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」より

(5) 壮瞥町

表 13 壮瞥町の年齢階級別将来推計人口

(単位:人)

人口推計 (壮瞥町)	2015年 平成27年	2020年 令和2年	2025年 令和7年	2030年 令和12年	2035年 令和17年	2040年 令和22年	2045年 令和27年	(対2015年比)
15歳未満	282	228	179	150	125	103	87	▲ 69.15%
15～64歳	1,402	1,204	1,067	947	854	736	643	▲ 54.14%
65歳以上	1,238	1,253	1,205	1,128	1,038	976	889	▲ 28.19%
総数	2,922	2,685	2,451	2,225	2,017	1,815	1,619	▲ 44.59%
(75歳以上)	738	775	826	837	796	733	652	▲ 11.65%
(高齢化率)	42.37%	46.67%	49.16%	50.70%	51.46%	53.77%	54.91%	29.60%

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」より

表 14 壮瞥町の年齢構成割合（推計）

年齢構成割合 （壮瞥町）	2015年 平成27年	2020年 令和2年	2025年 令和7年	2030年 令和12年	2035年 令和17年	2040年 令和22年	2045年 令和27年	（2015年-2045年）
15歳未満	9.65%	8.49%	7.30%	6.74%	6.20%	5.67%	5.37%	▲ 4.28
15～64歳	47.98%	44.84%	43.53%	42.56%	42.34%	40.55%	39.72%	▲ 8.26
65歳以上	42.37%	46.67%	49.16%	50.70%	51.46%	53.77%	54.91%	12.54
（75歳以上）	25.26%	28.86%	33.70%	37.62%	39.46%	40.39%	40.27%	15.02

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」より

（6）洞爺湖町

表 15 洞爺湖町の年齢階級別将来推計人口

（単位：人）

人口推計 （洞爺湖町）	2015年 平成27年	2020年 令和2年	2025年 令和7年	2030年 令和12年	2035年 令和17年	2040年 令和22年	2045年 令和27年	（対2015年比）
15歳未満	823	632	486	398	325	268	221	▲ 73.15%
15～64歳	4,715	3,997	3,407	2,891	2,394	1,920	1,565	▲ 66.81%
65歳以上	3,761	3,726	3,550	3,272	3,003	2,740	2,427	▲ 35.47%
総数	9,299	8,355	7,443	6,561	5,722	4,928	4,213	▲ 54.69%
（75歳以上）	2,034	2,127	2,268	2,213	2,053	1,834	1,654	▲ 18.68%
（高齢化率）	40.45%	44.60%	47.70%	49.87%	52.48%	55.60%	57.61%	42.43%

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」より

表 16 洞爺湖町の年齢構成割合（推計）

年齢構成割合 （洞爺湖町）	2015年 平成27年	2020年 令和2年	2025年 令和7年	2030年 令和12年	2035年 令和17年	2040年 令和22年	2045年 令和27年	（2015年-2045年）
15歳未満	8.85%	7.56%	6.53%	6.07%	5.68%	5.44%	5.25%	▲ 3.60
15～64歳	50.70%	47.84%	45.77%	44.06%	41.84%	38.96%	37.15%	▲ 13.56
65歳以上	40.45%	44.60%	47.70%	49.87%	52.48%	55.60%	57.61%	17.16
（75歳以上）	21.87%	25.46%	30.47%	33.73%	35.88%	37.22%	39.26%	17.39

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」より

4. おわりに

北海道全体と西胆振管内を比較すると、15歳未満人口については、平成27年（2015年）と比べ令和27年（2045年）では、北海道全体では40.88%の減少が見込まれているのに対して、西胆振管内では52.17%の減少が見込まれており、11.29ポイントの差があります。また、高齢化率については、北海道全体では平成27年（2015年）時点では29.09%なのに対して、西胆振管内では34.64%であり、5.55ポイントの差がありますが、令和27年（2045年）には北海道全体は42.79%、西胆振管内では44.75%になると見込まれており、縮まりましたが1.96ポイントの差があります。総人口については、平成27年（2015年）と比べて令和27年（2045年）では、北海道全体では25.58%の減少が見込まれているのに対して、西胆振管内では40.53%の減少が見込まれており、14.95ポイントの差があります。

以上のことから、北海道全体では少子高齢化が進行し、人口減少に伴い人口構造が変化することが見込まれておりますが、西胆振管内においては、少子高齢化・人口減少ともに北海道全体を上回るペースで進行すると見込まれております。

そのため、北海道胆振総合振興局保健環境部保健行政室（室蘭保健所）としては、新型コロナウイルス感染症による影響がいつまで続くのか見通しが立たない中ではありますが、西胆振管内におけるバランスの取れた医療提供体制の実現のため、適切な病床機能について、調整会議委員の皆様と検討させていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

i 15歳以上65歳未満の人口のこと…デジタル大辞泉より

ii 65歳以上の人口のこと…統計局HPより

iii 高齢者人口（65歳以上人口）/（総人口-年齢不詳人口）*100により算出…千葉県庁HPより